

**第3次臼杵市総合計画の策定に向けた
関係団体及び地域振興協議会
アンケート結果報告書**

2025年4月

< 目次 >

1.関係団体アンケート結果.....	2
(1)調査概要.....	3
(2)団体運営上の問題・課題.....	4
(3)行政に望む支援.....	6
(4)その他.....	8
2.地域振興協議会アンケート結果.....	9
(1)調査概要.....	10
(2)活動内容.....	11
(3)運営上の問題・課題.....	12
(4)あるべき姿・めざしている姿.....	13
(5)他の団体と取り組みたいこと.....	14
(6)その他.....	15

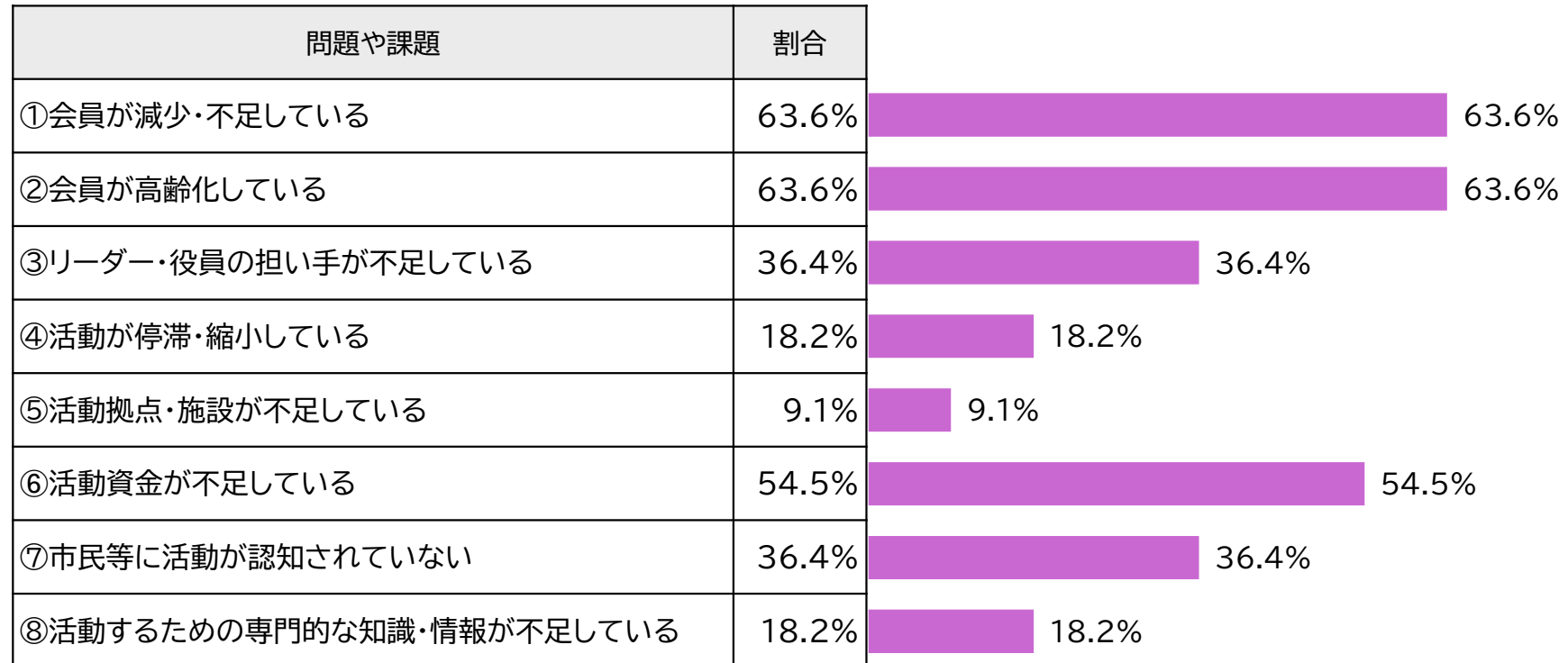
1. 関係団体アンケート結果

(1)調査概要

項目	内容
調査期間	令和6年12月4日(水)～12月27日(金)
調査対象	現在、市内で積極的に活動している団体
調査方法	・ インターネット:アンケート用紙の表紙の二次元コードをスマートフォン等で読み取り、専用フォームにて回答 ・ メール:アンケート用紙に回答を記入し、担当メールアドレス宛に送付 ・ FAX:アンケート用紙に回答を記入し、FAXにより送信
回答率	61.9% ※総数:21団体、回答数:13団体
調査結果 の活用	次期総合計画の策定に向けた基礎資料として活用
留意点	・ 調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。 ・ 百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率が100%と一致しない場合があります。

(2)団体運営上の問題・課題

設問文:貴団体の活動で現在困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



各団体の運営上の問題・課題の結果

- 各団体の団体運営上の問題・課題の結果、「①会員が減少・不足している」と「②会員が高齢化している」が63.6%で最も多く、次いで「⑥活動資金が不足している」が54.5%などとなっています。

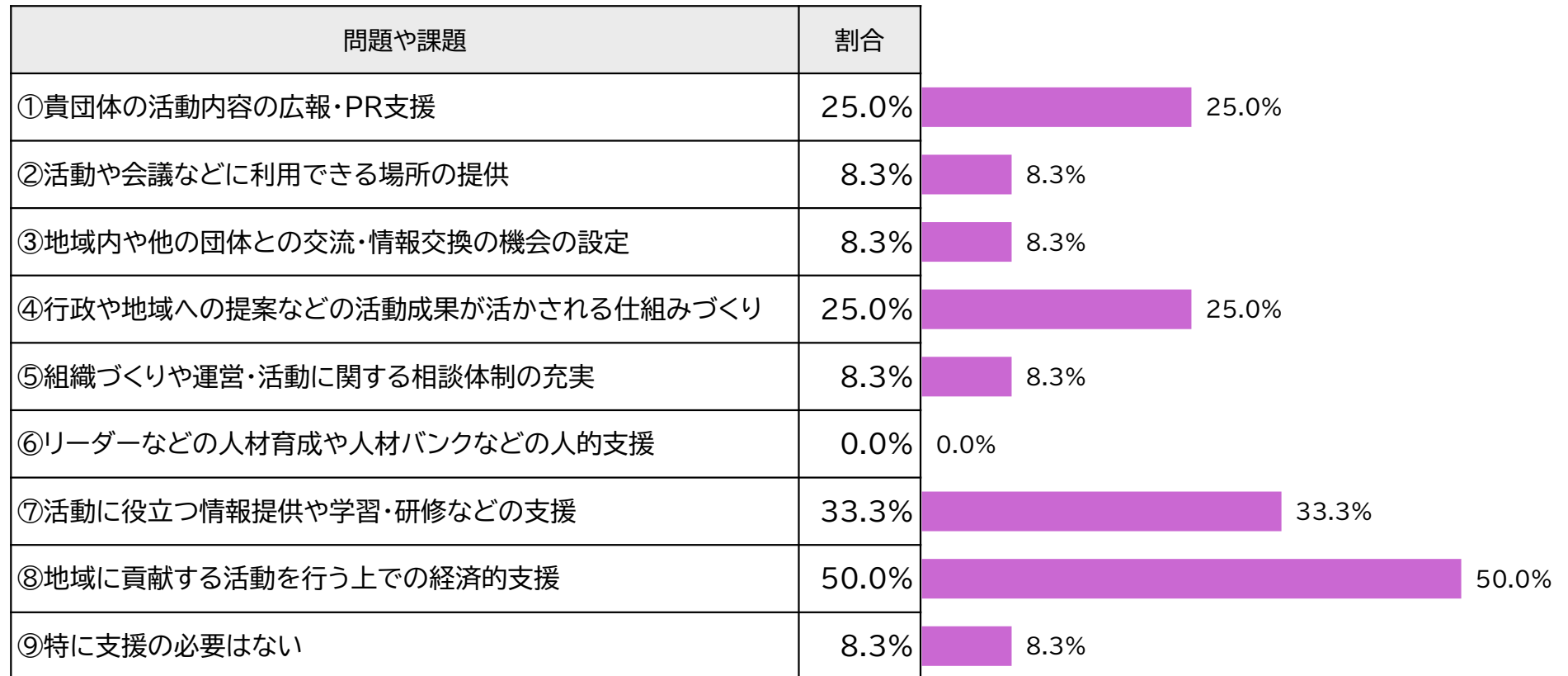
(2)団体運営上の問題・課題

設問文:貴団体の活動で現在困っていると回答したものの中から特に困っていることを1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

特に困っていること	その理由(一部要約)
①市民等に活動が認知されていない	・ 会員が高齢化し、辞める方も多く、また、新規会員を募集するがなかなか集まらない。 ・ 事業を行う際、マンパワー不足による団体の活動の場の減少。 ・ 高齢化による事業の廃止及び後継者不足等による商工事業者の減少及び人口減少による新規事業の開業がない。
②会員が高齢化している	・ 地域の若い会員の入会が見込まれない。 ・ 会員の高齢化。若者の芸能・文化・芸術等に対する関心度が低く、人口の減少により若い世代の絶対数の減少。活動への関心を持つ若い人材・リーダー的存在が減少している。
④活動が停滞・縮小している	・ 市外、県外への研修学習会がバスの使用ができなくなり、活動範囲が狭まってしまい、訪問地に困っている。
⑥活動資金が不足している	・ 活動の核となる事務局の仕事ができる事務員を雇用したいと考えている。現在は、無償で行っている。 ・ 自己財源を稼ぐための活動機会の不足。 ・ 全国交流会議(国への要望や活動の発表)が年1回開催され、その際の参加費や交通費、宿泊費又各種イベントへの参加の交通費など、経費がかかる為資金が不足している。
⑧活動するための専門的な知識・情報が不足している	・ 定年退職等により、ベテランの専門的知識を有する者が減る一方で、若手の資格者が少なく、世代交代が進んでいない。
その他	・ 自助努力で解決すべき課題である。

(3)行政に望む支援

設問文:貴団体の活動において行政に望む支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)



各団体の行政に望む支援の結果

- 各団体の行政に望む支援の結果、
「⑧地域に貢献する活動を行う上での経済的支援」が50.0%で最も多く、次いで「⑦活動に役立つ情報提供や学習・研修などの支援」が33.3%などとなっています。

(3)行政に望む支援

設問文：貴団体の活動で行政に望む支援と回答したものの中から特に行政に望む支援を1つ選んでください。
また、その理由を教えてください。

特に行政に望む支援	その理由(一部要約)
①貴団体の活動内容の広報・PR支援	・ 広報等の支援。 ・ 青年部主催イベントについて、市報等で周知をお願いしたい。
②活動や会議などに利用できる場所の提供	・ 中央公民館の講座室or視聴覚室の申込がその月初めであるため、年間の計画立てと開催予定・案内がし難い。せめて2ヵ月～半年前の申込が可能であってほしい。
④行政や地域への提案などの活動成果が活かされる仕組みづくり	・ 資源の再資源化(特に廃食油)を提案してきているが、諸条件等で実現化していない。 ・ 新臼杵港からのアクセス道路については市も検討されてるため、県などへの要望は連携して行うような仕組みを作ると、もっと成果が得られると思う。 ・ 人口減少、リーダー的存在の減少、活動縮小、高齢化・過疎化となるわがまちの今後には官民一体となる組織作りが必須。公民館・ボランティア・各種団体等地域に根ざした取組と協力体制は過疎化のまちには絶対的に必須と考える。役所的思考ではなく地域に根ざした公民館づくりを希望する。
⑤組織づくりや運営・活動に関する相談体制の充実	・ 私どもの活動内容、運営等について熟知していないよう感じる。担当によって差が出る事は市民として理解できない。
⑦活動に役立つ情報提供や学習・研修などの支援	・ 当団体では、消防署へ依頼し会員を対象とした学習会を開催しており、危険物保安管理の知識・意識の向上をめざしている。レベルの高い内容での学習会もお願いしているところ。
⑧地域に貢献する活動を行う上での経済的支援	・ 食の提供もあるので経済的支援があると助かる。 ・ ある程度予算があれば事業の規模を拡大しやすくなる。 ・ 会員からの会費等で会の運営を賄っているが、各種事業やイベント開催等には各種補助金が必要。
⑨特に支援の必要はない	・ このままでよい。

(4)その他

設問文:その他、ご意見などがあればご回答ください。(例:貴団体の強みを活かして市や他の団体などと協働し取り組みたいと考えていること、今後のまちづくりに期待すること、アイデアなど)

回答(一部要約)

- ・環境美化、特にプラスチックごみなどの収集や、それに伴う学習会、自然環境の保全と活用。
- ・最近、当団体は会員の高齢化が進んでおり、農泊事業は休止しております。そのため、都市部と農山漁村との交流によって等地域の活性化をメインに取り組んでいる。最近のイベントでは、大分、別府、佐伯市と市内外より30名前後が参加している。また、今後は、漁業者等の交流を望みイベント等に参加したいと思う。
- ・2024(令和6)年3月のイスラエルから39名を皮切りに海外から502名(ヨーロッパ大半)インバウンドの施行会社3社からのオーダーを受けている。2025(令和7)年の予約もいただいている。その他、地元小学校(5年生)の農泊体験、大分市、愛媛の小学生の農泊体験の依頼、大学ゼミ等、今年3月～11月まで804名受け入れ実績がある。受け入れ家庭は70歳代の高齢であり、PR等全くしていないのに口コミで来てくださるお客を断ることは出来ない。行政にはこの状況を考えていただきたい。(高齢者がスマホを介して外人と笑顔で話している。たのしい元気をもらうとの意見も数多くいただく。)
- ・他自治体の団体は、国や県に対して要望活動を行う際に、行政(市等)と連携してるということをよく伺う。国の認知度も高いとのこと。今後、吉野ICから臼杵までのアクセス道路も一緒に要望活動を行い、物流だけでなく、観光面においてもチャンスの時と考えられるため、まちづくりを含めた道づくりを検討していただきたい。「町おこしは”まちのこし”生活道路は”みちのこし”」
- ・災害時に、危険物安全協会が危険物取扱者を派遣し、過疎地域への燃料運搬や取扱いの支援ができないか検討している。
- ・現在も時々連携を行っているが、臼杵市歴史資料館との連携。また、歴史的な町並み景観の保存、維持、建造物の保存、維持、活用など。
- ・今後は各種団体との協力体制の強化推進、各施設との交流等も深めながら、文化祭や地域の活動に参画。生きがいと希望を持てる様な活動をめざす。現在、当団体では施設訪問活動を行っているが、各団体がコラボしながら、より多くの団体の活動量・発表の場が増加する様活動を行う。また、未介入の文化・芸能活動への参加要請を行い、これからの野津町の活性化を図る取組を考えたい。当団体を含め・ボランティアや各団体を総合的に取りまとめるのは地域の公民館の役目だと考える。

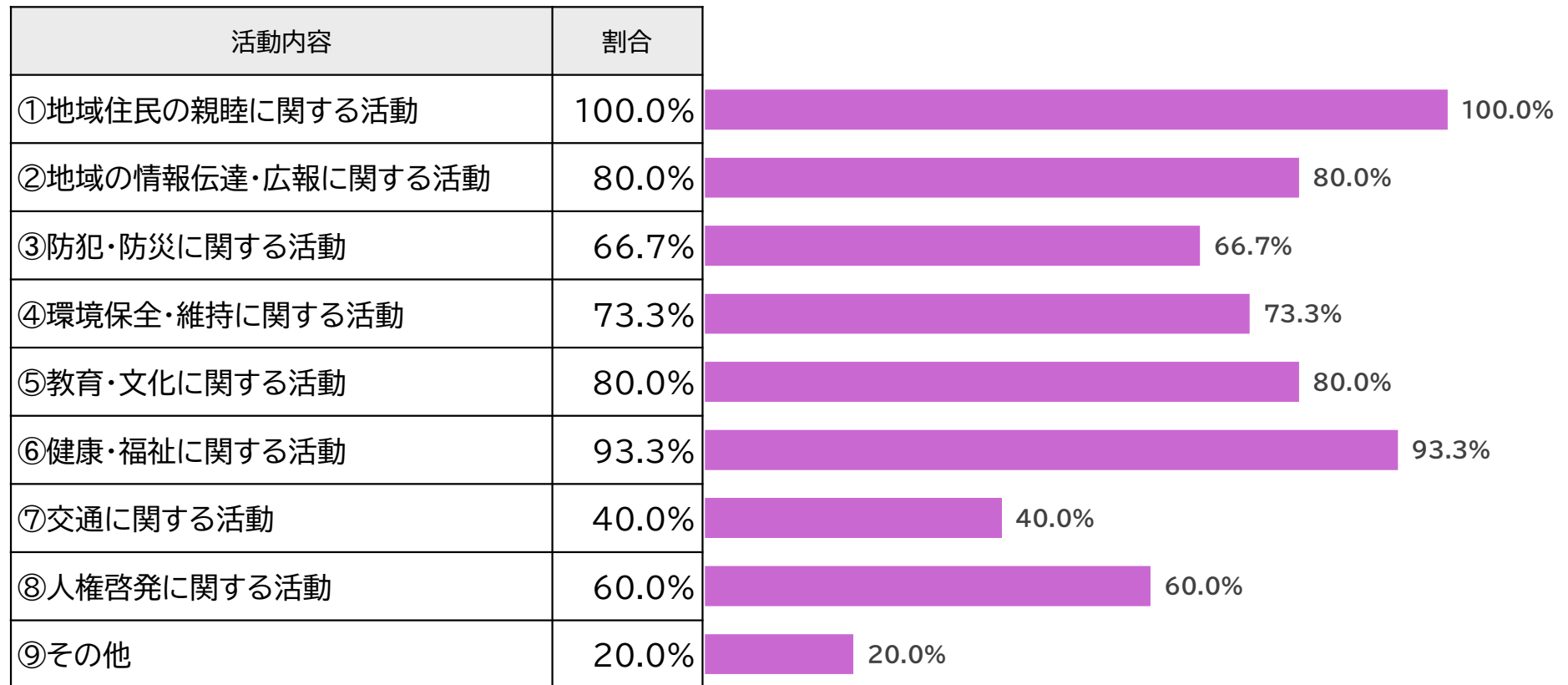
2.地域振興協議会アンケート結果

(1)調査概要

項目	内容
調査期間	令和6年12月4日(水)～12月27日(金)
調査対象	地域振興協議会
調査方法	・ インターネット:アンケート用紙の表紙の二次元コードをスマートフォン等で読み取り、専用フォームにて回答 ・ メール:アンケート用紙に回答を記入し、担当メールアドレス宛に送付 ・ FAX:アンケート用紙に回答を記入し、FAXにより送信
回答率	83.3% ※ 総数:18協議会、回答数:15協議会
調査結果 の活用	次期総合計画の策定に向けた基礎資料として活用
留意点	・ 調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。 ・ 百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率が100%と一致しない場合があります。

(2)活動内容

設問文:地域振興協議会の活動内容をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

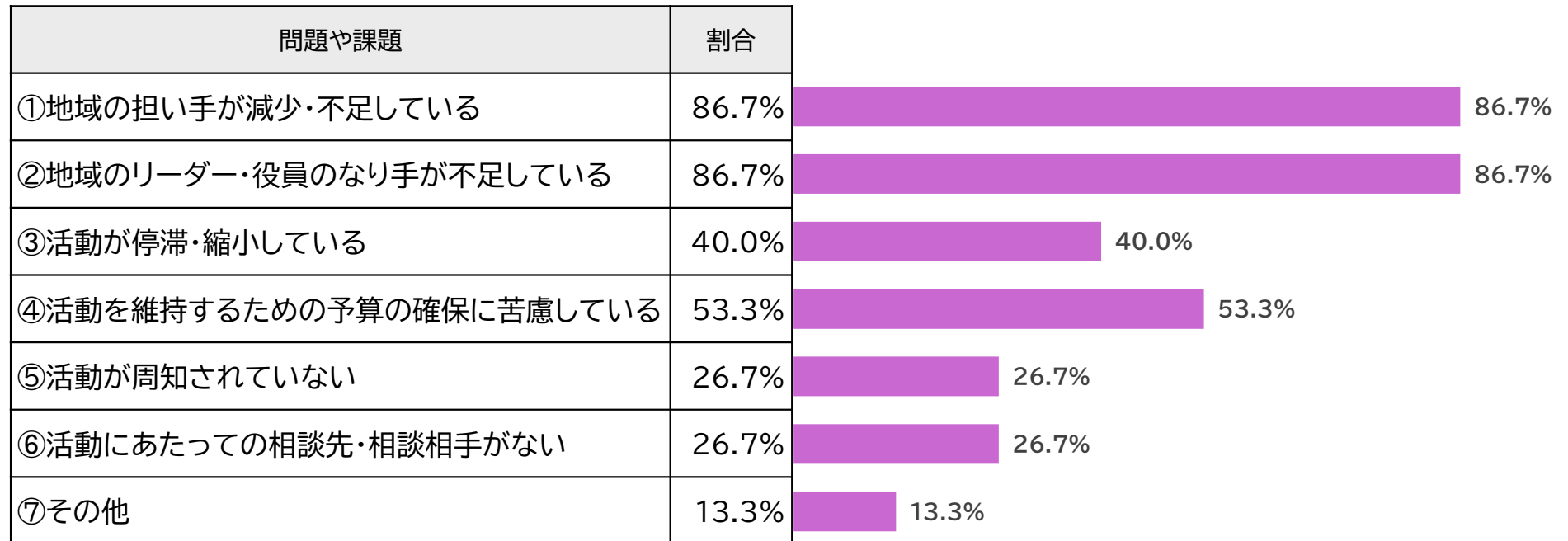


各地域振興協議会の活動内容の結果

- 各地域振興協議会の活動内容の結果、
「①地域住民の親睦に関する活動」が100.0%で最も多く、次いで「⑥健康・福祉に関する活動」が93.3%などとなっています。

(3)運営上の問題・課題

設問文:地域振興協議会を運営する上で問題や課題があればご回答ください。(あてはまるものすべてに○)



各地域振興協議会の運営上の問題・課題の結果

- 各地域振興協議会の運営上の問題・課題の結果、
「①地域の担い手が減少・不足している」と「②地域のリーダー・役員のなり手が不足している」が86.7%で最も多く、
次いで「④活動を維持するための予算の確保に苦慮している」が53.3%などとなっています。

(4)あるべき姿・めざしている姿

設問文:地域振興協議会のあるべき姿、あるいは、めざしている姿(どのような組織でありたいか)をご回答ください。

回答(一部要約)

- ・将来に渡って持続的なコミュニティ活動のできる組織。
- ・地域の誰もが関心を持ち、参画できる組織、事業をめざす。
- ・お互いの顔が見える関係をつくる。
- ・高齢者が楽しく外出できるような環境整備や生きがいを感じられる事業を実施。
- ・各団体、組織がひとつになり、協力し合い積極的かつ継続的に地域のこどもから高齢者まで全員を巻き込んだ活動の展開を行い、地域内の活性化と地域住民の一体感を育み、日常生活での安心感を作り上げ、「自分たちの村は自分たちで守り育てていく」ことをめざす。
- ・地域に住む人たちが地区の良さを知り、それを繋いでいき、高齢社会の中で一人ひとりがいきいきと活躍できる組織をめざす。
- ・地域の自治会や女性、青年組織等活動団体が連携し、地域住民の交流や地域活性化を図る取組を企画運営を行う。
- ・地域の方々が率先して参加し、楽しめる地域振興協議会。
- ・地域住民がみんなで楽しみながら安心、安全に暮らしていける環境作り。
- ・若者が定着し、活気ある地域作り。
- ・事務局があるコミュニティーセンターにいつも人々が集まる場所をめざす。
- ・各地区の問題点の相談と解決策、また、協議の助成、地区小学校・中学校に係る運営協議会の促進(特に小学生と遊ぶこと!!)。
- ・独自に活用できるの資金を継続的に確保していく。
- ・地域住民との一体感。こどもから高齢者までを惹きつけられるような組織。
- ・「地域の人々が共に支え合う共生の社会づくり」の活動を中心に三世代交流や高齢者が健康で安心して社会生活が出来る地域をめざす。
- ・各地区区長、民生委員、福祉委員を中心に健康増進、福祉推進活動を行う。
- ・コミュニティセンターの利用度アップ。
- ・地域住民がそれぞれの趣味・趣向が合い、参加できるサークル的なもの(少人数)を数多く取り上げたい。

(5)他の団体と取り組みたいこと

設問文:地域のよさや強みを活かして、市役所や他の地域振興協議会と協働し取り組みたいと考えていることがあれば具体的にご回答ください。

分類	回答(一部要約)
他協議会との協働	・ 他の地域振興協議会との環境整備や環境保全・維持に係る活動 ・ 例年実施するイベント等について、他の地域との交流や協力 ・ 国道502号の不欠桜を利活用した行事 ・ 美しい海岸の維持・保全のため清掃活動の実施 ・ 臼杵の所在する駅を連携した駅フェスや臼杵公園での音楽フェスと食の祭典などの実施
市との協働	・ 地域での行事のPR ・ イベント開催時の大型ポスター等の作成 ・ 市役所との連携は必須
その他	・ 若者の定住や地域のこどもたちに楽しい思い出が残せるような3世代交流を実施したい ・ 地域内には文化資源や歴史資源が多くあるため、これら資源を再認識し活用することで、地域の活性化につなげる ・ 地域デイサービスの創設 ・ 地区住宅の設置などにより域内移住の促進 ・ 昼食を調理して配送および食べるサロンの設置

(6)その他

設問文:その他、ご意見などがあればご回答ください。(例:貴団体の強みを活かして市や他の団体などと協働し取り組みたいと考えていること、今後のまちづくりに期待すること、アイデアなど)

分類	回答(一部要約)
地域内連携	・ 高齢者が楽しく外出できるような環境整備や生きがいを感じられる事業 ・ 地区の住人が集まれる「つどいの場」を作り、地域の親睦・交流の促進 ・ 免許返納者をはじめ、地域の高齢者を対象とした地域内交通の課題を解決する対応が必要 ・ 高齢化の対応として、地域内の学生を対象にスタッフの募集を実施 ・ 他の団体(自治会・福祉推進協議会)の事務を協議会に委託し、諸問題等を共有して事務の充実を図る ・ 地域の伝統・文化を引き継ぐ体制を整備
他協議会との協働	・ 国道502号の不欠桜を利活用した行事 ・ 運動会や大綱引き等のイベント ・ 互助による外出支援バスを必要とする地域への拡充 ・ 各地の地域振興協議会が一同に集まり、イベントを開催
市との協働	・ 地域振興協議会の事務局員を対象とした(パソコンや関連ソフトの扱いなどの)勉強会や研修会などの実施 ・ 地域住民を対象としたニーズ調査(アンケートやワークショップなど)の実施支援 ・ 地域出身の市役所職員の方に会議等に参加していただき、一緒に地域を盛り上げていただきたい
その他	・ 地域振興協議会や敬老会などと協力し、小学校との交流